

KFA 第 29 回熊本県サッカー選手権大会
兼 天皇杯 JFA 第 105 回全日本サッカー選手権大会熊本県代表決定戦
大会実施要項

1. 大会名称
KFA 第 29 回熊本県サッカー選手権大会
兼 天皇杯 JFA 第 105 回全日本サッカー選手権大会熊本県代表決定戦
2. 主 催
一般社団法人熊本県サッカー協会
3. 共 催
共同通信社・熊本日日新聞社
4. 主 管
一般社団法人熊本県サッカー協会1種社会人委員会・1種学生委員会
5. 大会日時及び会場
令和7年4月27日(日)10:00 準決勝 ① フットボールセンター(COSMOS)
令和7年4月27日(日)13:00 準決勝 ② フットボールセンター(COSMOS)
令和7年5月11日(日)10:00 決 勝 フットボールセンター(COSMOS)
6. 参加資格
熊本県サッカー協会1種社会人及び同学生委員会が指定した令和7年度日本サッカー協会登録チームで、参加資格は下記の通りとする。
1) チーム 1種所属(社会人・大学生)のチームとし、各々2チームをシードして行う。
2) 選 手 ①本大会エントリー選手は30名までとする。
②外国籍選手は1チーム5名までエントリーでき、1試合3名まで出場できる。
③日本サッカー協会発行の選手証、電子選手証を所持しているものに限る。
7. 競技方法および規定
 - ① 2025年(公財)日本サッカー協会制定の『サッカー競技規則』による。
 - ② 1回戦ノックアウト方式による2回戦トーナメントにて行う。
 - ③ 試合時間は90分とし、勝敗の決しない場合PK戦で決定する。
但し、決勝は勝敗の決しない場合には5分間の休憩ののち、30分間(前後半各15分)の延長戦を行う。それでも勝敗が決しない場合はPK戦で優勝チームを決める。
 - ④ 試合中の選手の交代は、5名以内とし、交代回数は3回までとする。
試合が途切れる回数を減らすため、試合中の交代は各チーム最大3回とする。加えて、ハーフタイム時にも交代することができる。なお、延長戦では1名の交代を追加する。
 - ⑤ 脳振盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いは、次の通りとする。
 - (1) 脳振盪またはその疑いのある選手の交代(以下「脳振盪交代」という)は、通常交代に含まれない。
 - (2) 脳振盪交代は、通常交代と判別できる、別途指定する手続きで行われなければならない。
 - (3) 脳振盪交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および脳振盪交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。
 - (4) 脳振盪交代をした場合、相手チームは通常交代とは別に、1名1回の交代を追加で得ることができる(以下、本号に基づく交代を「追加交代」という)。ただし、追加交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および追加交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。
 - (5) 1試合における各チームの脳振盪交代および追加交代の交代人数は、それぞれ1名とする。
 - ⑥ ベンチに入ることのできる人数は交代要員7名、チーム役員7名までとする。
 - ⑦ WBGT 値によって飲水タイムを実施するかどうか、マッチコーディネーションミーティングにおいて決定する。
 - ⑧ 審判員は、熊本県サッカー協会より派遣する。

⑨ ハーフタイムのインターバルは 15 分以内とする。

8. 代表者会議

日時 令和 7 年 4 月 3 日(木) 18 時 30 分(受付 18 時より) ※時間厳守
場所 フットボールセンター(COSMOS) スタジオ

9. 表彰

- ① 優勝及び準優勝チームには表彰状を授与する。
- ② 優勝チームには共同通信社杯を授与する。

10. 申込

KICKOFF にて大会エントリーを令和 7 年 4 月 7 日(月)までに行ってください。

参加料は、下記口座に令和 7 年 4 月 7 日(月)までに振込をお願いします。

「振込口座」

肥後銀行 浜線支店 普通 口座番号 208500 シャ)クマモトケンサッカーキョウカイ

11. 参加料

1 チーム 20,000 円とする。

12. 罰則

退場による措置

退場を命じられた選手等は、次の1試合の出場を停止する。ただし、本大会で消化できない場合は、次の公式戦で適用される。

なお、優勝チームに関しては、天皇杯1回戦で適用される。以後の措置については、熊本県サッカー協会規律・フェアプレー委員会で決定する。

また、本大会の規律・フェアプレー委員会は天皇杯実施委員で構成する。

13. その他

- ① 試合開始 80 分前までに試合メンバー表を会場責任者に提出すること。
出場チームは選手証とメンバー提出用紙を持参する。
- ② マッチコーディネーションミーティングは、試合開始 70 分前に行う。
- ③ ユニフォームの決定は担当するレフェリーが行うので、必ず登録した正副のユニフォームを持参すること。併せて、2 色のビブスを持参すること。
- ④ チームキャプテンは、関連する競技会主催者によって認められたアームバンドを着用しなければならない。
- ⑤ 優勝チームは、天皇杯JFA第 105 回全日本サッカー選手権大会に熊本県代表として、更に、国民スポーツ大会(九州ブロック大会)成年男子の部に出場する権利を持つとともに義務を負う。
- ⑥ 負傷者については、各チームが責任を持って対処する。
- ⑦ テクニカルエリアを設ける。
- ⑧ 試合球は大会事務局で準備する。
- ⑨ この要項に定めていない事項については、下記大会役員の合議体において決定する。

14. 大会役員

大会会長	河田信之(会長)
大会統括責任者	中村洋介(専務理事)
統括副責任者	津留貴裕(事業委員長)
運営責任者	甲斐沖太(社会人委員長)・村山浩一(学生委員長)
運営委員	水口常務理事 上園医学委員長
	1 種社会人運営委員(稲津、 倉門、 徳元)3名
	1 種学生運営委員 (中村)1 名

※ 熊本県天皇杯実施委員会は、専務理事、事業委員長、審判委員長、規律フェアプレー委員長、1種社会人委員長、1種学生委員長、常務理事 1 名で構成する。

※ 天皇杯 JFA 第 105 回全日本サッカー選手権大会は、収益事業のため、事業委員会が主体となり運営し、大会役員、熊本県天皇杯実施委員会委員は、その運営に協力するものとする。